

<2019年度 ハローオリンピック事業>  
**オリンピック教室**

**実施報告書**

**千葉県 船橋市立高根中学校**





## 「オリンピック教室」の実施にあたって

現行の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和元年5月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）  
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 2019年4月～2020年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 80校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目  
運動の時間 (50分)



2時限目  
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施  
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

## 1時限目

### 運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

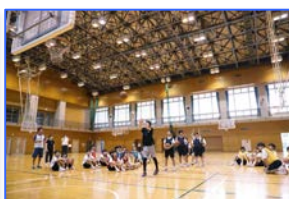
まとめ（5分）



自己紹介  
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動  
（作戦タイム等を設け、  
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

## 2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、  
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に  
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると  
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

### 座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用  
した自己紹介



オリンピック自身の経験に  
基づく「オリンピックの価値」等  
を伝える



グループ（個人）ワークで  
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます



# 実施内容

■期 日 : 2019年6月21日 (金)

■ク ラ ス : 2年3組 (37名)

■オリンピアン : 濱口 典子 先生 (バスケットボール) 【出場オリンピック/アトランタ大会、アテネ大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (1時限)

## 1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・授業のはじめにオリンピックバリューについて、エクセレンス「卓越/他の人よりも秀でているもの」、フレッドシップ「和」、リスペクト「お互いを尊敬し合うこと」と紹介し、運動の授業の中で皆も見つながら取り組んでほしいと伝えた。
- ・準備体操として、バスケットボールを使ってのストレッチ、指相撲、手つなぎ「だるまさんが転んだ」を実施。

## 2. 準備体操



## 3. 主運動



- ・シュート競争を6班対抗で全3回実施。
- ・競争に入る前に、バスケットボールが苦手な人でも「上手く見えるコツ」を披露。
- ・各回作戦タイムを設け、より早く成功するためにどうすれば良いかを各班で相談する。

## 4. まとめ



- ・バスケットボールは、外国人選手と対峙するため、苦手なものに対して挑戦することを心掛けており、運動の時間で皆の諦めない姿を見ることができて、良かったと振り返る。諦めないことはオリンピックバリューにも繋がると話し、上手くいく時もあれば上手くいかない時もある。その時に自分をどのようにコントロールするかが大事になると伝えた。高い目標を持ち、その過程にある困難を工夫しながら乗り越えることが重要であると話し、授業終了。

## ■ 授業のながれ：座学の時間（2時限）

### 1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・オリンピックの歴史やオリンピックシンボルの意味等を解説。
- ・自身の経験を通じて感じたオリンピックバリューについて説明。「エクセレンス＝卓越、諦めない」「フレンドシップ＝友情、お互いを理解する、思いやり」、「リスペクト＝敬意/尊重、チームワーク」

### 2. オリンピックの価値を伝える



### 3. グループワーク



- 発問：生活の中にあるオリンピックバリューを具体的に見つけてみよう。今後どのようにオリンピックバリューが活かせるか考えよう。
- 発表：「うまくいかなかった時、マネをしてみたらできた」「苦手な人との関わり方を工夫」「昔の自分、勉強しても結果が出ない。今の自分、やり方を工夫し結果が出せた」(エクセレンス)  
 「相手に踏み込みすぎない」「どんな時にも礼儀を大切に」「友達を信じ、自分も信じてもらえるようにする」(フレンドシップ)  
 「両親がどんな時も支えてくれた」「部活でも競っているのでタイムを抜かせた時に喜びを感じた」(リスペクト)

### 4. まとめ



- ・オリンピック教室で学んだことを忘れずに、オリンピックバリューを意識して人生を歩んでほしい。
- ・夢に向かう中でつらい経験をするかもしれないが、転換法で乗り越えてほしいと伝え、授業終了。



# 実施内容

■期 日：2019年6月21日（金）

■ク ラ ス：2年1組（36名）、2年2組（37名）

■オリンピアン：桑井 亜乃 先生（ラグビーフットボール）【出場オリンピック／リオデジャネイロ大会】

■授業のながれ：運動の時間（3時限、5時限）

## 1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・自己紹介の後、運動の授業は、「全力でプレーすること」「仲間を大切にすること」「ルールを守ること」を意識しながら取り組むよう伝える。
- ・準備体操として、ストレッチ、タグ取り鬼、数集まり、パス練習等を実施。

## 2. 準備体操



## 3. 主運動



- ・タグラグビーを2リーグに分かれて班対抗で実施。（各班2試合）
- ・試合が終わった班は作戦を考え、次に試合をする班は応援にまわる。



## 4. まとめ



- ・授業の冒頭に意識して取り組むよう伝えた3つの約束事が守れていたかを確認。
- ・座学の時間では、3つの約束事がオリンピックバリューとどのように繋がっていくかを詳しく学んでいくと伝え、授業終了。





## ■ 授業のながれ：座学の時間（4時限、6時限）

### 1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・リオデジャネイロ大会に出場するまでの映像やリオデジャネイロ大会の映像を見せながら競技ルール等を解説。
- ・自身の経験を通じて感じたオリンピックバリューについて説明。「エクセレンス＝卓越、諦めない心、全力で取り組む」「フレンドシップ＝友情、仲間を大切にすること」、「リスペクト＝敬意/尊重、感謝する心、フェアプレー」

### 2. オリンピックの価値を伝える



### 3. グループワーク



- 発問：自分の夢や目標を書いてみよう。発表者の夢を実現するためには何が必要か、オリンピックバリューに当てはめて考えてみよう。
- 発表：「サッカー選手／独自のプレースタイルを極める、コツコツ努力する」「バレーボールで県大会に行く／記録を残す、努力する」「来年の大会で良い成績とる／諦めない心」「プロ野球選手／日頃の練習で努力する」(エクセレンス)  
 「船橋でベスト8／チームで協力する」「吹奏楽で日本一／注意しあう、仲間を信じる」(フレンドシップ)  
 「バレーボールで県大会に行く／自分から積極的に動きチームを変える」「吹奏楽で日本一／仲間に感謝する」(リスペクト)

### 4. まとめ



- ・皆の夢や希望を達成するためにオリンピックバリューが繋がっている。
- ・東京2020大会時に千葉県で実施される競技を紹介。
- ・7人制ラグビーの日本代表として皆に期待に応えられるような活躍を見せたい。また、皆も夢や目標の実現に向けて進んでほしいと伝え、授業終了。



■ 集合写真  
2年1組



2年2組





■ 集合写真  
2年3組



■ 記念品贈呈  
2年1組



2年3組



2年2組



■ 修了証贈呈

